

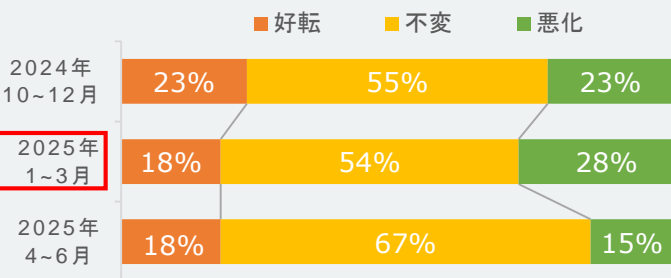
川崎商工会議所 中小企業景況調査 2025年1~3月期 調査結果

● 調査対象 川崎商工会議所会員 80事業所 ● 調査時期 2025年2月13日~3月6日

1 業況について

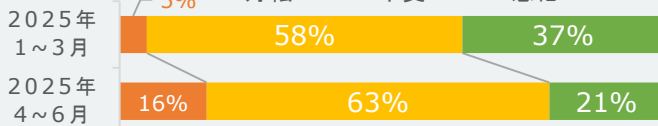
◆ 今期（1~3月）は、好転が減少、悪化が増加している。特に悪化については、建設業・卸売業で1割程度であったが、製造業・小売業では、約4割になっている。また不変が5割超であり、業況改善の力強い動きには至っていない。

◆ 来期（4~6月）は、ほとんどの業種で悪化が減少し、明るい兆しが見られるものの、不変は増加しており、引き続き慎重な見方をする企業が多い。

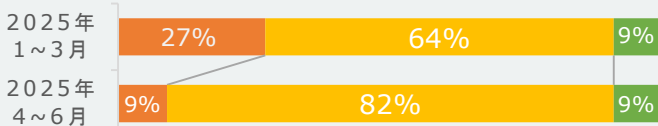


■ 業種別

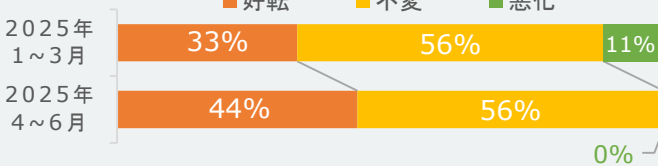
[製造業]



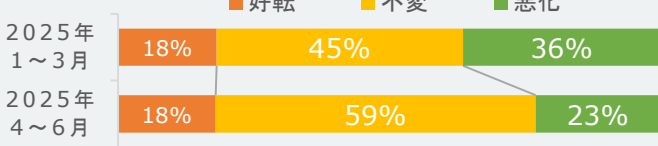
[建設業]



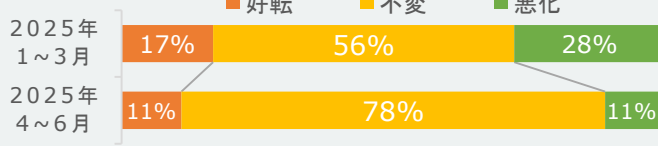
[卸売業]



[小売業]



[サービス業]



2 設備投資について

[今期（2025年1月~3月）]

実施した：5%

実施していない：95%

<実施内容>

設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器
25%	25%	25%	25%

[来期（2025年4月~6月）]

計画している：5%

計画していない：95%

<計画内容>

設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器
25%	25%	25%	25%

3 経営上の問題点 [複数回答]

◆ 全業種で「価格上昇（原材料、仕入単価）」の声が1位となった。製造業・卸売業・小売業で「需要の停滞」が挙げられており、価格上昇による全体的な買い控えの傾向が窺われる。

◆ 建設業・サービス業では前期に引き続き「人件費の増加」「技術者・従業員の確保難」が挙げられた。人手不足解決に難航していることが推察される。

[製造業]

1位	原材料価格の上昇	42%
2位	需要の停滞	37%
3位	製品（加工）単価の低下・上昇難	21%

[建設業]

1位	材料価格の上昇	45%
2位	熟練技術者の確保難	27%
3位	・人件費の増加 ・材料費・人件費以外の経費の増加 ・下請業者の確保難	18%

[卸売業]

1位	仕入単価の上昇	40%
2位	需要の停滞	30%
3位	人件費以外の経費の増加	20%

[小売業]

1位	仕入単価の上昇	55%
2位	消費者ニーズの変化への対応	32%
3位	需要の停滞	27%

[サービス業]

1位	材料等仕入単価の上昇	50%
2位	人件費の増加	39%
3位	従業員の確保難	33%